



平成 29 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
(TEL. 092-437-8944)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 8 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり、修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 6 月期通期連結業績予想の修正(平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	1,160	850	420	87.92
今回修正予想 (B)	17,500	630	360	100	20.90
増減額 (B-A)	△2,500	△530	△490	△320	-
増減率 (%)	△12.5	△45.7	△57.6	△76.2	-
[ご参考]前期実績 (平成 28 年 6 月期)	14,028	293	△11	△113	△23.73

2. 修正の理由

売上高につきましては、当初計画より 2,500 百万円減少する見込みであります。主な要因は次の通りです。

ウォーター事業において水素水販売を当社グループの収益事業の一つとして大きく拡大、発展させる計画としておりましたが、一部メーカーによる不正広告等の影響と思われるマーケットの停滞等により売上が低迷し第 1 四半期連結会計期間において赤字に転落、第 2 四半期連結会計期間以降は、事業の黒字回復を最優先事項とし、広告戦略等の大幅な見直しを実施いたしました。その結果、第 2 四半期連結会計期間及び第 3 四半期連結会計期間において黒字回復を果たしましたが、広告宣伝費の大幅な圧縮に伴い、新規顧客獲得数が当初計画より減少、売上高は、当初計画より約 1,500 百万円減少する見込みであります。

また、新規事業の R V 事業における販売体制構築の遅れ及び温浴施設の運営を中心とするアミューズメント事業における来場者数回復の遅れ等の影響もあり、R V 事業においては当初計画より約 350 百万円、アミューズメント事業においては当初計画より約 200 百万円減少する見込みであります。不動産事業のマンション販売部門においては、新築マンション 132 戸の引渡しを計画しておりましたが、平成 29 年 5 月引渡開始物件である「トラストネクサス新椋野 II」の引渡戸数が計画より減少、売上高は約 260 百万円減少する見込みです。

なお、第 4 四半期連結会計期間において、販売用不動産の売買契約を締結、売上計上を見込んでおりましたが、最終的には引渡しには至らず、売上高見込みの修正をいたします。

損益面につきましては、売上高の計画未達の影響により、ウォーター事業において約 250 百万円、RV事業において約 120 百万円、アミューズメント事業において約 100 百万円、不動産事業のマンション販売部門等において約 50 百万円、それぞれ減益となる見込みです。

また、平成 29 年 5 月 10 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」にて第 3 四半期連結会計期間において固定資産の減損損失等の特別損失を計上した旨ご報告いたしましたが、業績回復途上の子会社を中心にのれん減損損失、固定資産減損損失等の特別損失追加計上を検討しております。

以上の要因によりまして、営業利益、経常利益、当期純利益について予想を下回る見込みとなりました。

以 上

(注) 本資料に記載されている当社の通期の連結業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。